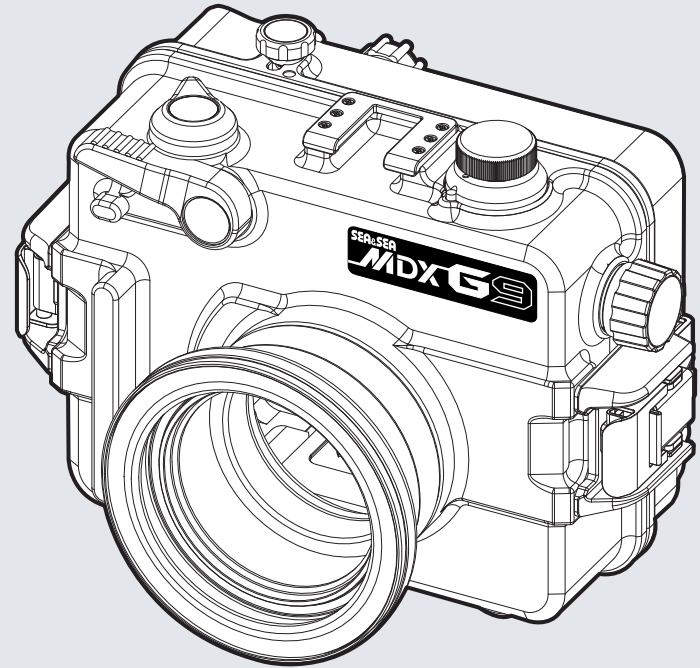
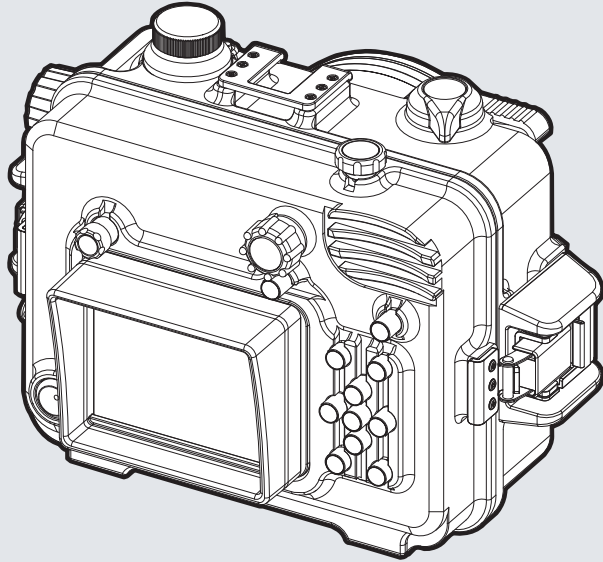


SEA&SEA**UNDERWATER HOUSING for
Canon G9****MDX-G9****SEA&SEA**

シーアンドシー・サンパック株式会社
〒332-0016 埼玉県川口市幸町3-2-20
TEL. 048-256-2251
カスタマーサービスセンター
TEL. 048-255-8512
<http://www.seaandsea.co.jp>

取扱説明書

はじめに

この度は、シーアンドシー製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、内容を十分に理解してから正しくお使いください。お読みいただいた後は、いつでも見られるところに必ず保管してください。

お知らせ

耐圧検査合格シール



このシールが貼られている製品は、シーアンドシー 耐圧検査基準に基づいた検査に合格している製品であることを表しています。

目次

安全上のご注意.....	2
○リングの取り扱いに関するご注意.....	4
各部の名称.....	6
リークセンサー.....	7
ハウジングを開閉する.....	8
ポートを取り付ける／取りはずす.....	9
カメラをハウジングにセットする.....	10
TTL切替ダイヤルについて.....	12
ストロボを接続する.....	13
各部の操作.....	14
付属品の取付方法.....	15
お手入れと保管上のご注意.....	17
仕様.....	18

安全上のご注意

ご使用前にこの「安全上のご注意」をお読みになり、正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保管してください。

ここに示した注意事項は、人や製品への危害や損害を未然に防止するための重要な内容を記載しています。内容をよく理解してから製品を正しく安全にお使いください。

⚠ 警告 取り扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う可能性が想定されます。

⚠ 注意 取り扱いを誤った場合、ケガを負う可能性および物的損害の発生が想定されます。また、製品の品質・信頼性が損なわれる可能性が想定されます。

⚠ 警告

- 本製品を乳幼児の手の届くところに置かないこと。付属品や小さな部品などを誤って飲み込む恐れがあります。万一、飲み込んだ場合は、ただちに医師にご相談ください。

⚠ 注意

- ご使用前に必ずカメラ本体の取扱説明書をよく読んでからお使いください。
- 本製品を絶対に分解・加工・改造しないでください。浸水や故障の原因になります。分解・加工・改造品の浸水・破損等の保証はいたしかねます。修理や内部の点検は、ご購入の販売店にご相談ください。
- 煙が出たり、変な音やにおいがするときは、ただちに使用を中止し、ご購入の販売店にご相談ください。
- 万一、浸水が起きた場合は、ただちにスイッチを切りすぐに使用を中止してください。
- 浸水しているときは、内部の圧力が高くなることがあります。本体ケースを開けるときの水が吹き出したり、本体ケースが跳ね上がったことがありますのでご注意ください。ケガの原因になります。
- 本製品は気密構造となっておりますので、密閉した状態で航空機などで運搬した場合、内外の気圧差が生じることがあります。本体を密閉しない状態（ポート類をはずすなど）で運搬してください。
- 水しぶきのかかるところ、湿気の多いところ、海岸など砂のつきやすいところでは、本製品の開閉をおこなわないでください。水滴落下・浸水などにより故障の原因になります。
- 本製品を落としたり、振り回したり、撮影機材を持ったままポートから海に飛び込んだり、機材を海に投げ込むなど、強い衝撃を与えないでください。思わぬケガや破損・故障の原因となります。

- ストロボ・ライト・アクセサリ類は確実に固定し、落下・紛失などにご注意ください。また、必要以上に曲げたり、力を加えたりしないでください。思わぬケガや破損・故障の原因になります。
- 本製品の上に重いものを置いたり、乗ったりしないでください。重量で本体が変形し、内部部品が破損すると、火災・感電・故障の恐れがあります。また、浸水の原因にもなります。
- カメラをハウジングに入れて使用すると、ダイヤル・ギア等との摩擦により、カメラにキズがつく可能性がありますので、あらかじめご了承ください。
- ポートやファインダーなどのガラス面にキズがつかないように十分にご注意ください。
- ポートやファインダーなどのガラス面は、キズがつかない柔らかい布などで水滴をよく拭き取ってください。水滴がついたまま放置しますと、シミ・ムラとなって残ってしまう恐れがあります。
- ご使用後は、防水されている状態で、必ず真水で洗ってください(詳しくは「お手入れと保管上のご注意」(P. 17)をご覧ください)。
- 接続していたシンクロコード類をはずして洗う際は、必ず本製品のコネクタキャップを閉めて、防水された状態で洗ってください。
- 薬品・化粧品、シンナーなどの石油系溶剤、台所用中性洗剤などは変形や損傷の原因となる場合がありますので、絶対に使用しないでください。
- 高温になるところに放置しないでください。特に炎天下や真夏の車内、車のトランクの中は異常に高温になりますので絶対に放置しないでください。本製品はプラスチックを一部使用しておりますので、熱で変形し内部部品が破損すると、火災・感電・故障などの恐れがあります。また、高温となる環境下に製品を密閉した状態で放置しますと、内部の圧力が上がり本体の変形や反り等が生じて、浸水の原因となったり、また結露を生じる場合があります。
- 水に濡れたところや湿気の多い場所で本製品を保管しないでください。カビやサビ、腐蝕・故障の原因になります。
- ナフタリンや樟脳の入った場所や、実験室のような薬品を扱う場所では保管しないでください。カビやサビ、腐蝕・故障の原因になります。
- 万一、本製品の不具合により撮影できなかった場合、撮影内容・撮影のための諸費用などの補償についてはご容赦ください。
- 本製品のご使用上において、万一、お客様の取り扱い上の不注意による破損・損傷などが生じた際のカメラ・レンズ、その他のアクセサリ等の交換・補償はいたしかねます。
- 本書の記載内容の誤りなどについての補償はご容赦ください。
- オリングの取り扱いにつきましては、オリングメンテナンスマニュアルをご覧ください。

オリングの取り扱いに関するご注意

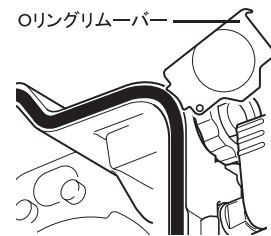
本機はオリングで防水を保っています。オリングの機能を十分に生かすため、以下にご注意ください。取り扱いが不適切だと浸水の原因になります。

⚠ 注意

- 当社製品は青色のオリングを使用しています。このオリングは特殊な加工により、シリコンオイルを内部に閉じこめてあります。徐々にシリコンオイルが内部よりしみ出している程度の間、潤滑効果が持続します。
- このオリングのお手入れには、必ず、当社製純正シリコングリス(青色オリング用 O-RING GREAS:文字、キャップが青色のもの)をご使用ください。他社製のシリコングリスや当社の文字が黒色のシリコングリスを使用されると、青色オリングの特殊な性質により塗られたグリスを吸い込んでしまい、逆にグリス切れの状態になってしまいます。一度でもこの状態になるとオリングは元には戻りませんので、必ず交換してください。
- グリス切れの状態では、オリングが滑らず防水部分の開閉が堅くなります。それにより、開閉ができないことや浸水の原因となることもありますので、グリス切れのままでの使用は避けてください。

オリングにキズやヒビ割れはありませんか？

キズ、ヒビ割れがないことを確認してください。もしある場合は、直ちに新しいオリングと交換してください。オリングを取り扱う際、金属製の尖ったものはキズがつくことがありますので、使用しないでください。付属のオリングリムーバー(O-RING REMOVER)のご使用をおすすめします。



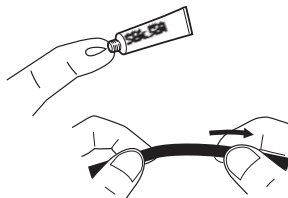
ゴミや砂、毛髪に注意してください

オリング、オリング溝、オリング接触面にゴミや砂、毛髪などが付いていないことを確認してください。それらが付着している場合は、完全に除去してください。そのままご使用になると、浸水の原因になります。

Oリングの取り扱いに関するご注意

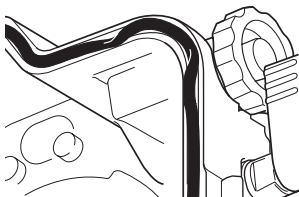
シリコングリスを塗ってください

シリコングリスは、Oリングの摩擦を防ぎます。Oリングにキズやゴミ、ホコリがないことを確認後、シリコングリスを指先でOリング全体に薄く塗ってください。多すぎるとゴミやホコリが付着しやすくなり、浸水の原因になります。



Oリングをねじらないでください

Oリングを溝に装着する際、ねじらないようまっすぐにに入れてください。



Oリングは毎回はずしてチェックしてください

毎回Oリングをはずして、Oリングや溝、Oリングの接触面等をチェックすることを原則とします。Oリングをはずさないで、Oリング溝の奥に入り込んだ砂やゴミが発見できないからです。ご使用前のメンテナンスは、必ずOリングをはずしておこなうことをおすすめします。

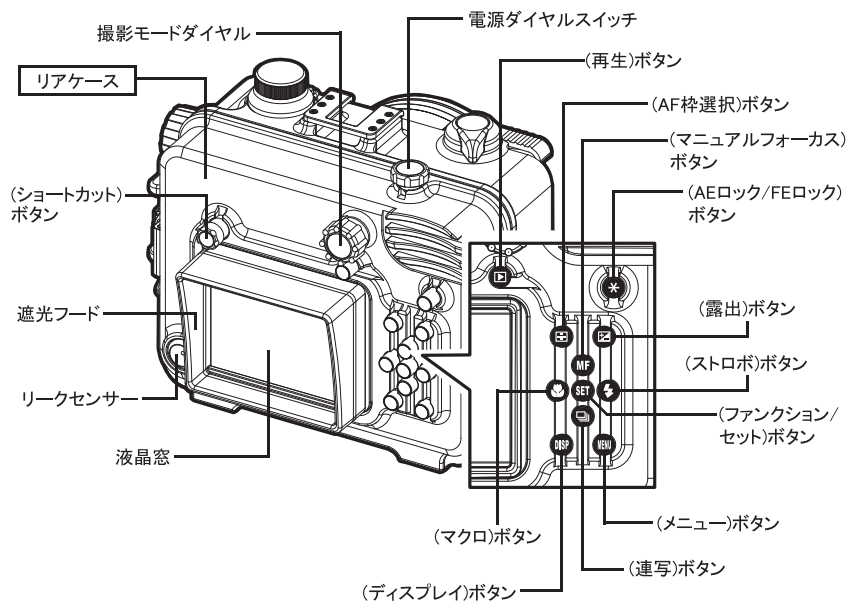
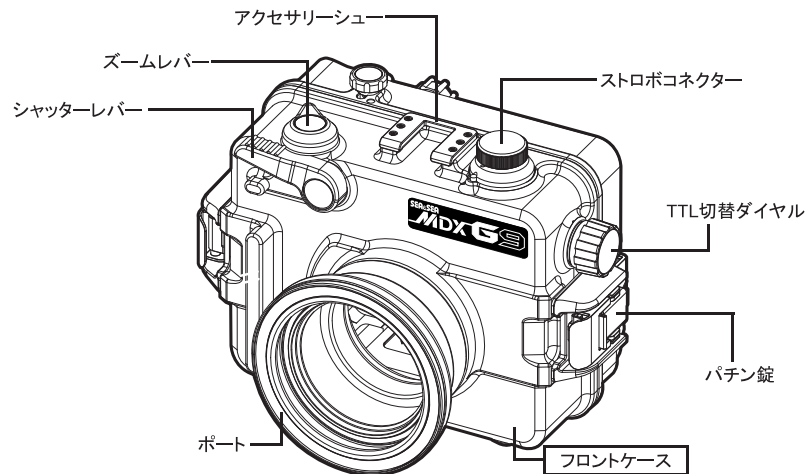
保管方法に注意してください

予備のOリング、またははずしたOリングを保管する場合、直射日光の当たらない涼しい場所に保管してください。また保管の際、Oリングに重いものをのせたり、Oリングを折り曲げたりしないでください。

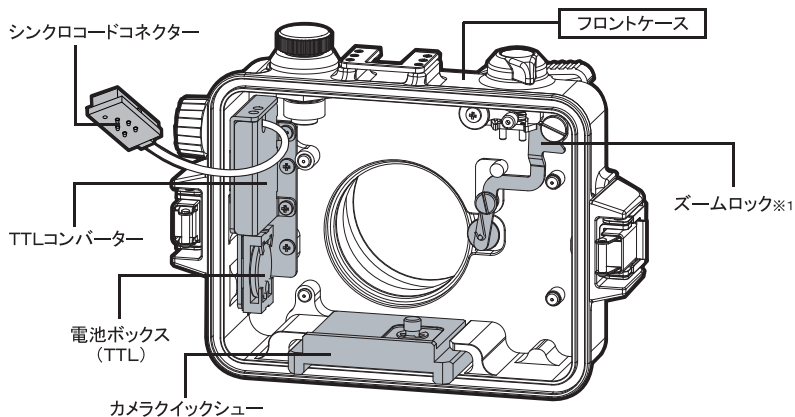
Oリングの耐久年数は1年です

手入れの状態、使用回数、保存状態などにより異なりますが、基本的にOリングの耐久年数は1年です。使用前に点検し、早めの交換をおすすめします。

各部の名称



各部の名称



※1 別売品MDX-G9用ワイドコンバージョンレンズ0.6x使用時に自動作動

リークセンサー

リークセンサーは水中で浸水を検知すると、赤色に点灯します。リークセンサーが点灯した場合は、安全が確保できる範囲内で速やかに浮上し、ハウジングからカメラを取り出してください。

⚠ 注意

多量に浸水すると内部の気圧が上昇し、非常に危険です。パチン錠をはずす際、リアケースが跳ね上がる可能性がありますので、十分にご注意ください。

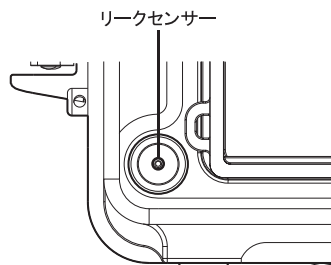
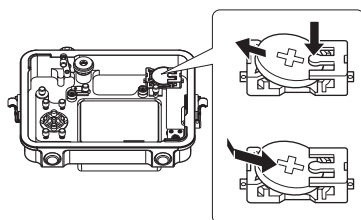
電池を交換する

リアケースにセットされている電池を交換します。

⚠ 注意

電池はCR2032をご使用ください。

- 1 中央の丸い部分を強く押して電池をはずす
- 2 電池の+側を上にして差し込む



ハウジングを開閉する

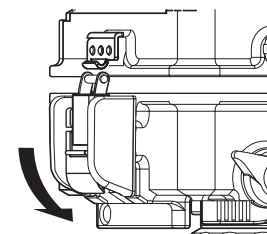
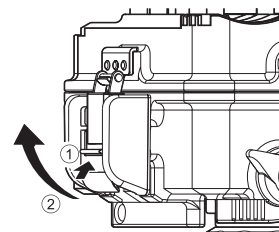
ハウジングの開閉はパチン錠でおこないます。ここでは、パチン錠の開閉について説明します。

パチン錠を開ける

- 1 リアケース面を上にして、左右のロックを押しながら①、パチン錠をフックからはずす②

⚠ 注意

- パチン錠をはずすときは、指の爪ではなく指の腹で開けるようにしてください。
- フックからパチン錠をはずした状態でパチン錠をロックすると、リアケースがはずしやすくなります。

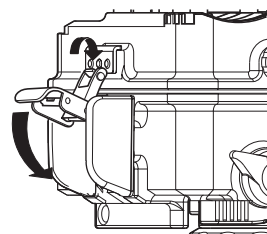


パチン錠を閉める

- 1 フロントケースにリアケースを合わせて押し付ける
- 2 左右のパチン錠をフックに掛け、同時にパチン錠を閉じる

⚠ 注意

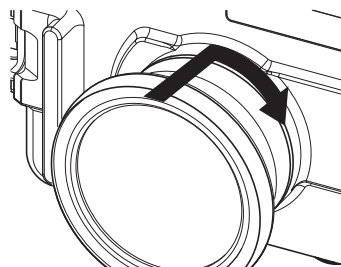
- リアケースとフロントケースを合わせる前に、OリングとOリング接触面にゴミやキズ、変形がないことを確認してください。
- パチン錠が確実にロックされていることを確認してください。



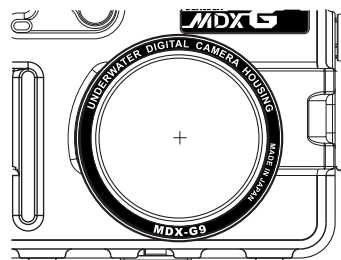
ポートを取り付ける／取りはずす

- 1 フロントケースのポート取付部にポートを押し込み、時計方向に止まるまで回す。

⚠ 注意
ポートを取り付ける前に、ポートのリングとリング接触面にゴミやキズ、変形がないことを確認してください。



- 2 ポートのロゴが右図の位置になっていることを確認する



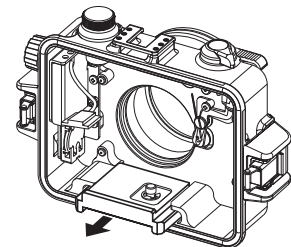
ポートを取りはずす

- 1 フロントケースをしっかりと押さえポートを反時計方向に回してはずす

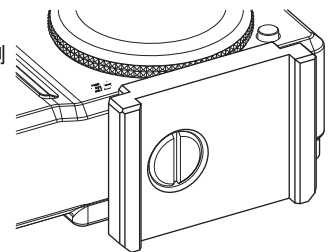
カメラをハウジングにセットする

⚠ 注意
● セットする前に、リングが溝からはみ出していないか確認してください。

- 1 フロントケースからカメラクイックシューをはずす

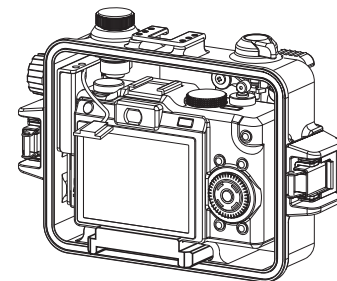


- 2 カメラクイックシューをカメラの三脚ネジ穴に固定する
● 背面受け凸がある方がカメラの後ろ側にあたるようにして固定する。



- 3 カメラをフロントケース前方にスライドさせる
● シンクロコネクタをフロントケースの外に出してください。

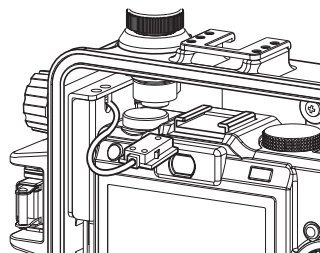
⚠ 注意
● カメラをハウジングに装着する際は、カメラの電源を必ずOFFにした状態にしてください。



4 シンクロコードコネクタをカメラのアクセサリシューに差し込む

⚠ 注意

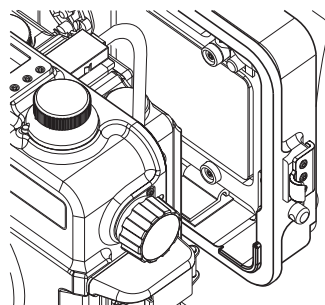
シンクロコードコネクタの取り付け、取りはずしの際は、必ずコネクタ部分を持ってください。コードを押し引きすると、コネクタの破損や接触不良の原因になります。



5 リアケースをフロントケースと合わせてセットし、パチン錠を閉じる。

⇒ 参照

「ハウジングを開閉する」(P.8)



カメラをハウジングから取りはずすには

- 1 パチン錠を開ける
- 2 リアケースをはずす
- 3 シンクロコードコネクタをカメラのアクセサリシューからははずす
- 4 カメラを手前にスライドさせながらフロントケースから取りはずす
- 5 カメラをカメラクイックシューから取りはずす

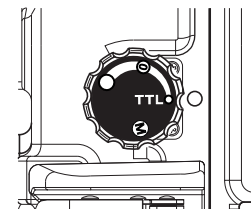
TTL切替ダイヤルについて

本機にはTTLコンバーターが内蔵されています。ストロボコネクタにストロボを接続するだけでTTL撮影が可能になります。

ストロボを「TTL」で使用するには

TTL切替ダイヤルをTTLの動作範囲にセットしてください。

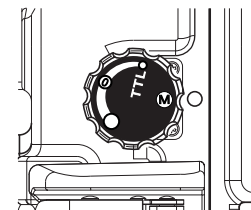
- カメラのモードがM(マニュアル)の場合は、TTL撮影ができません。
- バッテリー残量が少なくなるとTTL調光が不安定になります。



ストロボを「M」(マニュアル)で使用するには

TTL切替ダイヤルをMにセットしてください。

- マニュアル撮影の際は、ストロボのモードスイッチをマニュアル撮影の設定位置にご使用ください。



電池を装填／交換する

- 工場出荷時は電池は装填されていません。付属の電池(CR2032)を電池ボックス(TTL)に装填してください。
- 電池の交換時期につきましては、連続使用時間5時間もしくは連続発光回数1,000回を目安に交換することをおすすめします。(共にストロボの電源がつねにONの状態にて使用した場合)
- ハウジングをご使用にならないときは、「CR2032」電池をはずして保管してください。

⇒ 参照

「電池を交換する」(P. 7)

⚠ 注意

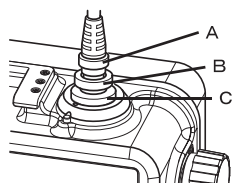
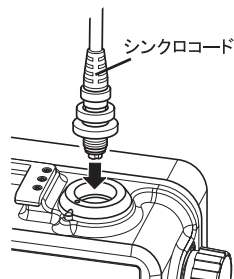
- バッテリー残量が少なくなるとTTL調光が不安定になります。不安定になった場合には、TTL切替ダイヤルを「M」にセットすることで、マニュアル撮影のみ可能となります。
- ストロボの発光に関係なく、ストロボの電源がONになっているとTTLの電池を消耗します。使用しない場合には、ストロボの電源をOFFにすることをおすすめします。
- ストロボを2灯接続して使用する場合は、必ず同一のストロボを使用してください。異なるストロボを2灯で使用すると、調光が不安定になる場合があります。YS-90シリーズは同一ストロボとお考えください。
- 当社製ストロボのYS-250PROでは、マニュアル撮影のみ可能となります。

ストロボを接続する

本機には、ストロボコネクタが搭載されています。



- 1 ハウジングのコネクターキャップをはずす
- 2 接続するシンクロコードのOリングにキズ、ゴミ等がないことを確認する
- 3 シンクロコードのOマーク(又は先端の凹部)と、ストロボコネクタのOマーク(又は内側の凸部)を合わせてまっすぐ差し込む
- 4 シンクロコードのBを、ストロボコネクタのネジに合わせ、止まるまで回す
- 5 シンクロコードのCを止まるまで回す
 - 確実に締めてください。
 - シンクロコードをはずすときは、C、Bの順でゆるめてAを持ちまっすぐに引き抜きます。コード部分を引っ張らないでください。



⚠️ 注意

- 水中でご使用後は水滴落下を防ぐために、必ずコネクタ部の水気をよく拭き取った後で、本機を逆さの状態にしてコネクタを引き抜いてください。万一、水滴落下した場合は、速やかに水気を拭き取ってください。
- 適合ストロボ以外のストロボを使用すると、正常に作動しないだけでなく、カメラおよびストロボの故障の原因となることがあります。
- 接続可能なストロボは、当社製ストロボに限ります。対応製品以外ではご使用になられた場合の全ての機材の保証はいたしかねます。対応ストロボにつきましては、当社または販売店にお問い合わせください。

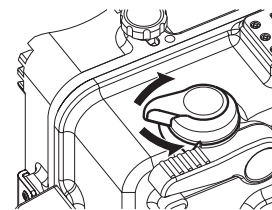
各部の操作

ズームレバー

ズームの際、矢印の方向にダイヤルを回してください。

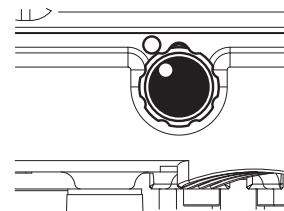
⚠️ 注意

- ワイドコンバージョンレンズ(オプション)を取付けた際は、ズームロック機構により、テレコン側へのズームはロック状態になり、ご使用できません。この状態で無理な操作をおこなうと破損の原因になりますのでご注意ください。



電源ダイヤルスイッチ

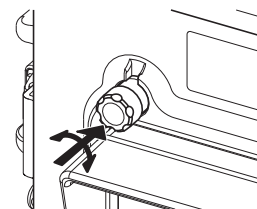
電源をON/OFFの際、ハウジング側のOと電源ダイヤルスイッチのOを合わせてからダイヤルを押してください。



(ショートカット)ボタン

ボタンを押し込んで回し、操作設定をしてください。

- ボタンを押し込んだ状態で、マクロボタンとストロボボタンを押すことで、シャッタースピードまたは絞り値を変更できます。ただし、カメラの撮影モードがM・Tv・Avの場合のみです。



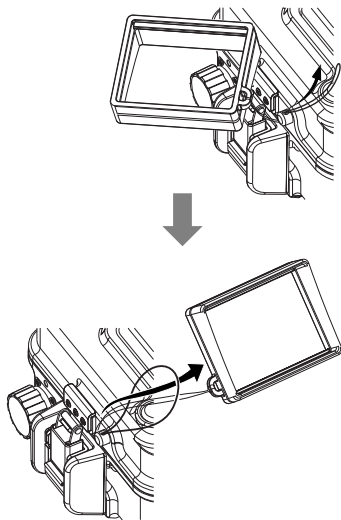
その他の操作部

カメラ本体の取扱説明書をお読みください。

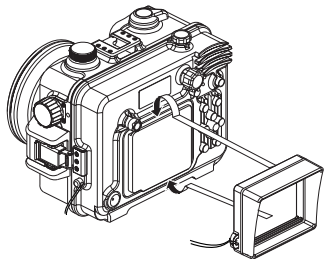
付属品の取付方法

遮光フード

- 1 右図のように遮光フード用ストラップをハウジングに通します。



- 2 付属の遮光フードをハウジングの遮光取付溝にはめこみます。

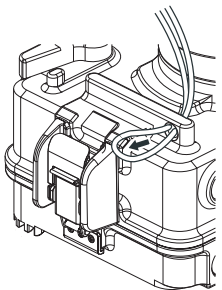


⚠ 注意

- リアケース(パチン錠)を閉じるときに遮光フードストラップを挟み込まないように注意してください。水没の原因となります。
- 遮光フードをつかんでハウジングを持ち上げないでください。遮光フードが外れて、ハウジングが落下して損傷する恐れがあります。

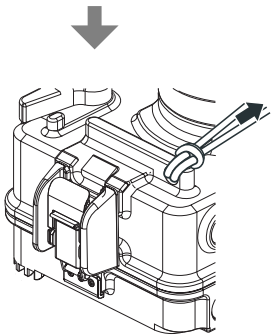
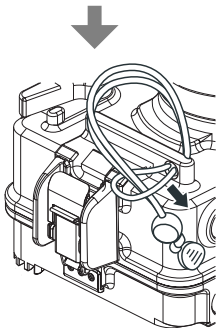
ストラップ

- 1 右図のように、ストラップをハウジング前面よりハンドストラップフックに差し入れ、輪に緩みが無くなるまで引いてください。



⚠ 注意

- オプションのアクセサリ(ワイドコンバージョンレンズ・ステア・アーム・ストロボ・ライト等)をご使用の場合は、陸上でハンドストラップを使用しないでください。アクセサリの重みでハンドストラップが破損し、思わぬケガ、ハウジング・アクセサリの破損、紛失などが生じる可能性があります。

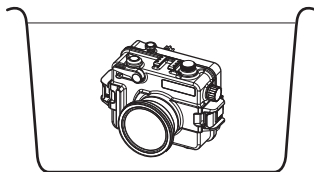


お手入れと保管上のご注意



注意

- 薬品・化粧品、シンナーなどの石油系溶剤、台所用中性洗剤などは変形や損傷の原因となる場合がありますので、絶対に使用しないでください。
- ご使用になった後は、必ず防水されている状態で、図のように十分に真水に浸けてから流水で洗ってください。可動部分(レバーやボタンなどは動かしながら洗ってください。
※パチン錠は除く
- 十分に真水に浸けなかったり、流水で洗うだけでは塩分が残り、乾燥すると塩は結晶となり水に溶けにくくなります。本製品に付着した塩の結晶は非常に取れにくく、浸水の原因になることもありますので、必ず真水に十分に浸けてください。
- 水洗いした後は、乾いた柔らかい布で水気をよく拭き取り、陰干しにして乾かしてください。
- 熱を発生する器具で強制的に乾燥させることは、変形や破損の原因となることがありますのでおやめください。
- 長期間ご使用にならないときは、高温・高湿、直射日光の当たる場所や、極寒になる場所を避けて保管してください。
- ナフタリンや樟腦の入った場所や、実験室のような薬品を扱う場所では本製品を保管しないでください。カビやサビ、腐蝕・故障の原因になります。
- ご使用になった後は、カメラをハウジングから取り出してください。カメラを取り出すときは、ハウジングの水分をよく拭き取ってから、水滴が内部に落ちないように注意しておこなってください。もし内部に水滴が落ちたときはよく拭き取ってください。
- ご使用になった後は、リングのメンテナンスをしてから保管してください。ご使用の前後に必ずリングの点検をし、早めの交換をおすすめします。
- ご使用の頻度や保管状態によっても異なりますが、製品の性能を維持するために、お買い上げいただいてから2年毎に1回を目安に、オーバーホール(有料)にお出しになることをおすすめします。



仕様

適応カメラ	キヤノン PowerShot G9
操作部	シャッターレバー・ズームレバー・TTL切替ダイヤル 電源ダイヤルスイッチ・撮影モードダイヤル・再生ボタン・AEロック/FEロックボタン・露出ボタン・AF枠選択ボタン・マニュアルフォーカスボタン・ストロボボタン・ファンクション/セットボタン・マクロボタン・連写ボタン・メニューボタン・ディスプレイボタン・ショートカットボタン
材質	ボディ:耐腐蝕アルミ合金(チタン色アルマイト)
耐圧深度	60m
サイズ	約173(幅)×124(高さ)×137(奥行き) mm
質量	約1103g(ハウジングのみ)
付属品	遮光フード・ストラップ・Oリングリムーバー・シリコングリス・CR2032リチウム電池2個(リークセンサー用のみ本体に装着済み)・カメラクイックシュー・取扱説明書(本書)

※本機の仕様および外観などは、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。